



つばめっ子かるた大会に 189 人が参加
●2月18日 吉田産業会館

11 回目を迎えた「つばめっ子かるた大会」。郷土愛を育むために制作したかるたを使って、子どもたちの熱戦が繰り広げられました。真剣な眼差しで、読み上げられたかるたに「我先に」と腕を伸ばしていました。



高校生が羽田空港でのイベントに出展
●2月22日 羽田空港（東京都大田区）

「燕市役所まちあそび部」が「地域づくり表彰受賞団体フェア in 羽田空港」に出展しました。自分たちで考えたオリジナルブレンドコーヒー「まちあそびブレンド」のほか、普段の活動を紹介。燕市の魅力も PR しました。



新たなステージへの旅立ち
●3月1日 分水中学校

市内の小中学校で卒業式が行われ、保護者や先生、在校生が卒業生の新たな門出を祝福しました。名残惜しく涙する卒業生も、希望を胸に晴れやかな顔の卒業生も、立派な姿で学び舎を巣立っていきました。



バレーボール五輪メダリストが中学生を指導
●3月2日 吉田総合体育館

バレーボールでロンドン五輪メダリストの^{おおももあ}大友愛さんを講師にお招きし、中学生を対象に開催したゆめみらいスポーツ教室。技術面はもちろん、メンタルの保ち方や仲間との声かけなど、丁寧に指導していただきました。



健康づくりマイストーリー運動 10 年記念講座、表彰・認定式、抽選会を開催
●3月9日 吉田産業会館

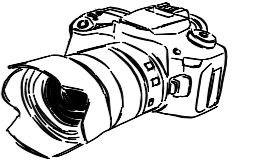
アルビレックスチアリーダーズから5人のメンバーを講師に招き、140人の参加者がチアダンスを体験。ポンポンを手に笑顔で体を動かしました。続いて、つばめ元気がかやきポイント事業の表彰・認定式を開催。継続して健康づくりに取り組んでいる27人と10団体に賞状と記念品が贈呈されました。また、ポイント報告者を対象にした公開抽選会では、番号が呼ばれるたび当選者から喜びの声が。表彰・認定式、抽選会でもアルビチアが会場を盛り上げてくれました。



camera view

カメラびゅう

市内の出来事や、頑張っている皆さんの姿を紹介するコーナーです。



【㊦】梅一輪 お菓子も添える 天神講
●2月22日 西燕保育園

学問の神様・菅原道真公を命日である2月25日にお偲びする風習「天神講」。子どもたちに受け継いでいくため、市内すべての公立保育園・こども園・幼稚園で行いました。道真公の掛け軸を飾り、お菓子をお供えしたり、掛け軸を見ながらみんなで絵を描いたりしました。

